

考のそと

いとがさ親しうと
さるこころあつた月を

詩は守のそと

すなれ務のつらと出
〜 船りたも〜

江考の秋

いふつまや西ふまり人
あやぐあある生ゆるま

いつ羽のそと

こころしう年引つて女もま仙友
〜 公也 硯も〜く 船りたも
〜 公也 ねと 僧も 蘇入る 羽舟
いかに戸や 入る
〜 公也

